



くくむ

2014
平成26年
7月号
第66号

ホットケーキを、

ほおばる





▲上手に焼けるかな？

金武幼稚園で

ホットケーキ作り体験

6月27日、金武幼稚園でホットケーキ作り体験が行われました。

園児たちは初めての体験に最初はぎこちない様子でしたが、先生の指導のもと、みんなが協力しながら楽しそうに調理していました。

出来上がったホットケーキは園児たちがおいしそうにほおばり、自分たちで作った「手料理」に満足そうな笑顔を見せていました。



▲手作りホットケーキ おいしそう！



お姉さんたちの 読み聞かせ うれしいな♪

金武幼稚園で5年生が読み聞かせ

6月11日、金武幼稚園で金武小学校の5年生6名が、各クラス2名ずつに分かれて、絵本の読み聞かせを行いました。読み聞かせは、次年度1年生になる園児たちが、最上級生となるお兄さんやお姉さんに親しみをもてるよう、年に数回行われる予定です。

▼読み聞かせに耳を傾ける園児たち



町立3幼稚園で交流保育 「嘉芸幼稚園で遊ぼう」

6月18日、町立3幼稚園による交流保育が嘉芸幼稚園で行われました。交流保育は3園の園児たちが楽しく交流することを目的に年に5回（遠足含む）設定されています。

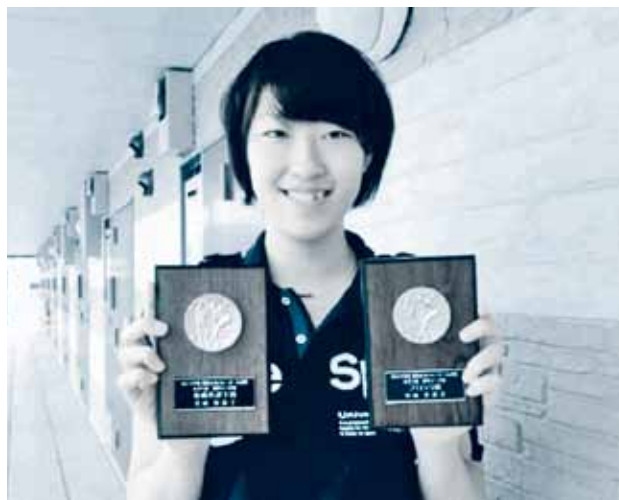
「嘉芸幼稚園で遊ぼう」と題した今回の交流保育では、園庭の遊具等で楽しく遊んだほか、お友達とお弁当を食べるなどして交流を楽しんでいました。



▲上まで登れるよ！

町出身の 宮城奈菜子さんが活躍！

金武町出身(金武中一西
原高校)京都橘大4年の
宮城奈菜子さん(金武区)
が所属する京都橘大学バ
レーボール部が関西バ
レーボールリーグで優勝
し、個人においても宮城さ
んは、最優秀選手賞、ブ
ロック賞を受賞するなど
チーム優勝の中心選手と
して活躍しました。



▲最優秀選手賞を獲得した宮城さん

平成
26
年度

読み聞かせサークル

「ぬくぬく」メンバー募集！のお知らせ

金武小学校では、週1回読み聞かせサークル「ぬくぬく」のメンバーを中心に各教室で読み聞かせをしています。全学級の子ども達に読み聞かせの良さを伝えることができるように頑張っています。

子ども好きな方、絵本が好きな方、我が子の学校での様子が知りたいお父さんお母さん、そしておじいちゃん、おばあちゃん、地域の方も、大歓迎です!!

たくさんの笑顔に出会えますよ!私たちと一緒に「読み聞かせ」をしませんか?

- 活動日 …………… 毎週月曜日(公休日等の場合は、翌日火曜日)
- 時 間 …………… 8時20分～8時40分

Q&A よくある質問

Q.1 どのような本を選べばいいんですか?

A.1 学年にあった本のリストがあって、学校図書館でも本を借りることができます。

Q.2 読み聞かせを一人でするのが不安です。

A.2 安心して下さい。慣れるまでは、メンバーと一緒にクラスに入りサポートします。また、図書委員会の児童もお手伝いできます。

Q.3 毎週必ず参加しないといけないですか?

A.3 いいえ、そんな事はありません。月1回でもOKです。



お申込み
お問合せ先

金武小学校 図書司書(伊波)、教頭(与那覇) 電話:968-2408

サバニ体験学習募集のお知らせ

来る8月24日(日)に、サバニ体験活動事業を実施いたします。昨年に続き東西に長い金武湾を横断する予定となっています。社会教育課では体験活動に参加するクルーを募集します。地元金武町の風景を海から眺め、サバニを漕ぐ楽しさや海の上でしか経験できない感動と一緒に体験しませんか？

募集期間 平成26年7月7日(月)～7月18日(金)

申込方法 教育委員会 社会教育課(窓口)で直接申し込んでください。

募集対象 町内の小学5年生～中学3年生

体験内容 サバニに乗船し、金武町を縦断(金武漁港～屋嘉漁港)※予定

**体験
実施日**

平成26年8月24日(日) 午前9時～午後3時頃
※事前練習(3回)、水難講習(1回)もあります。

詳しい内容については社会教育課までお問い合わせください。
※募集の案内チラシにつきましては後日町内各世帯へ配布いたします。

社会教育課 社会教育係 担当・山城 電話 968-8996

平成25年度の様子



慰霊の日資料展

「対馬丸」を平和のみちしるべに～生きていた君を忘れない～



町立図書館では、六月十四日～六月二十九日の期間中、慰霊の日資料展を開催しています。

今年、「対馬丸」沈没から七十周年の節目の年にあたります。対馬丸は「九四四年、沖繩の子どもたちなどを長崎へ疎開させる途中でアメリカ軍の潜水艦によって撃沈され、約八〇〇人の子どもたちを含む二五〇〇人近くが死亡しており、金武町でも五十余命の尊い生命が犠牲となりました。

対馬丸沈没事件概要のパネルを対馬丸記念館から提供を受け展示しています。また、金武町史・戦争編を参考に当館独自で作成しました金武町における対馬丸事件のパネルも合わせて展示しました。

今年も、金武小学校の四年生から六年



生が平和学習で来館し、対馬丸生存者の証言などが記録されているDVDを視聴後、どのような経緯で対馬丸が撃沈されたのかを真剣にメモを取りながら学習していました。その他、金武町デイサービスの方々もパネルを見て戦争当時を思い出しながら話をしていました。資料展を開催するにあたり、対馬丸記念館から対馬丸に乗船していた金武町出身者の情報提供の協力依頼があり、来館いただいた遺族の方から新たに写真の提供がありました。

町立図書館は、戦争による惨禍が再び起こることのないよう、恒久の平和を希求することを目的に、毎年新たなテーマで慰霊の日資料展を開催いたします。来年もご来館下さいます様よろしくお願い致します。

～絵本でめぐる金武町の歴史～



「ジューの武士」にでてくる場所をバスでめぐり、そこにまつわる歴史を絵本を通して学びます。

- ＊日 時：平成26年7月19日(土) 午後2時～4時
- ＊集合場所：金武町立図書館 研修室
- ＊講師：仲間 正直(町立図書館 元館長)
- ＊対象：一般成人・親子 ＊定員：20名(先着順)
- ＊申込方法：電話・カウンター
- ＊申込締切：7月18日(金)
- ＊持ち物：飲み物・タオル



主催：金武町立図書館 問い合わせ先：町立図書館 TEL.968-5004

中川区の伊藝姉妹が空手で大活躍!! 姉妹で九州大会へ出場!!



妹・伊藝あいかさん

姉・伊藝明日香さん

5月11日に沖繩県立武道館で行われた第10回沖繩県少年少女空手道選手権大会において、中川小学校4年生の伊藝明日香さんが型の部で第3位、明日香さんの妹で、同小3年生のあいかさんが組手の部で優勝し、宮崎県で開催される九州大会に派遣されることになりました。

6月11日には教育委員会を訪れ、比嘉教育長に県大会の結果と九州大会への派遣を報告しました。明日香さんは「九州大会でメダルが取れる様に頑張りたい」と力強く目標を語りました。

また、全国大会への派遣も決定している妹のあいかさんは「前回の全国大会では2回戦で負けてしまったが、今回は3回戦まで勝ち上がり」と躍進を誓いました。

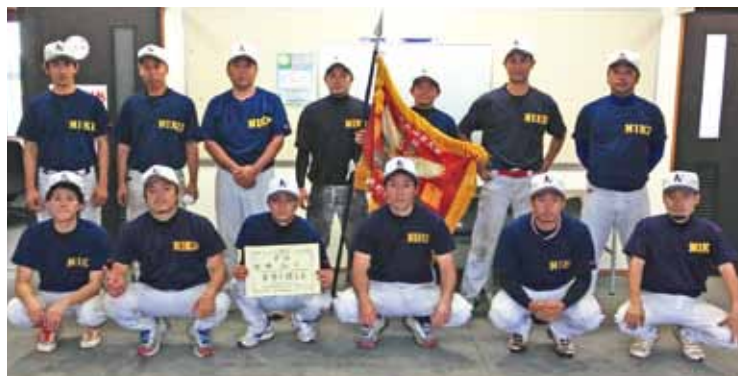
第36回

金武町民

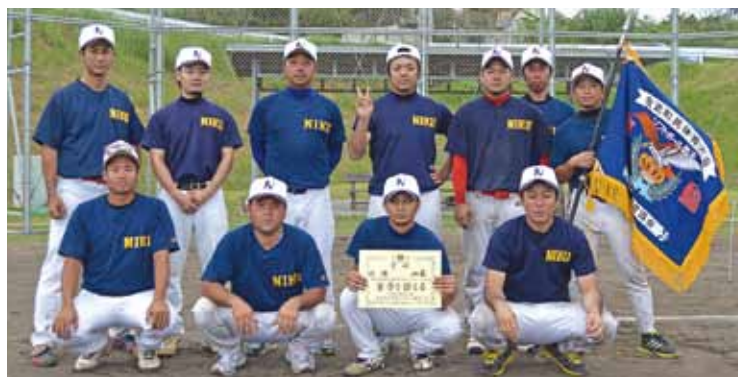
体育大会開幕!

第36回町民体育大会が開幕し、6月8日にソフトボール競技、6月15日には野球競技が金武町ベースボールスタジアムで行われました。選手達は各区の代表という誇りをぶつけ合い、熱戦を繰り広げていました。白熱した試合の連続でしたが、ソフトボール競技、野球競技ともに二区チームが優勝を勝ち取りました。

今後、バレーボールや沖繩角力等の球格技が行われ、9月の陸上競技で総合優勝が決まります。各区の選手の皆さん、総合優勝目指して頑張ってください!



◀野球競技優勝の二区



◀ソフトボール競技優勝の二区

第24回 やんばんる駅伝大会



▲伊江島に号砲響く



▲応援を力に走る!

たすきを繋ぎ 島を駆ける

第24回やんばんる駅伝伊江島大会が5月24日、伊江村ミースイ公園を発着点に行われました。

この大会は北部12市町村(名護市3チーム)と鹿児島県与論町の計15チームが参加した大会で、毎年離島を会場に行われています。今大会では、金武町は15チーム中14位という成績となりましたが、交流会では各市町村と交流を深め来年の雪辱に燃えていました。

金武中46期生が母校に寄付



▲寄附を手渡す、実行委員のみなさん(写真右)

去った1月に行われた金武中学校46期生の生年祝いにおいて、母校に恩返しをしようと、実行委員が中心となって寄付を募り、5月28日には、実行委員の伊芸守さん、新里シズカさん、仲間善宏さんが金武中学校を訪れ、友寄校長に寄付金を手渡しました。

伊芸さんは「生年祝いの際、母校に恩返ししたい旨を説明すると、みんな快く協力してくれた。中学校の教育を中心に活用してほしい」と述べました。友寄校長は「大変ありがたい。生徒のために有効に使いたい」と感謝を述べました。

平和メッセージで優秀賞

金武小学校から2名が優秀賞

6月23日の慰霊の日から沖縄県平和祈念資料館で行われている、第24回児童・生徒の平和メッセージ展において、金武小学校の伊芸美優さん（6年）と安次富倫さん（6年）が小学校高学年作文の部で優秀賞を受賞しました。同部門では最優秀賞は選出されていないため、2人が事実上の最高賞となります。

慰霊の日と同資料館で行われた開会式では、伊芸美優さんが県内の児童代表の1人として受賞作を朗読しました。

受賞作品は7月9日まで同資料館に展示された後、8月18日から5日間は県庁に展示され、18日には県庁で知事から表彰を受ける予定となっております。

今号では2人の受賞作の全文を掲載しご紹介します。



「平和について考える」

金武小学校6年

伊芸 美優

「こわい。おそろしいよ。二度と戦争は起きてほしくないし、起こしてはいけなごよ。」

6月23日の慰霊の日が近づくと決まって学校では平和学習が行われ、戦争体験者の話を聞いたり、関連本や資料を読んだりして、感想をまとめてきました。その中で私はそのような感想を書いてきたのです。しかし、戦争を知らない私達にとって、戦争そのものは遠い存在であり、人ごとのような感じでもありません。

「日本でまた戦争が起きるなんて、絶対にあるにない」

そんな風に思って、真剣に平和について考えていなかったように思います。そんな私に気づいたのは両親との会話がきっかけでした。「6年生の総合学習では平和について学んだって。平和って、どういうこと？」

学校でのことを話題にして、私は両親にそうたずねました。すると「戦争がないことさー。」

「戦争がなくて、普通に暮らせることではない？」

そんな答えが返ってきました。その時私の中で何かしっくりしない気持ちがかんできました。でもその時はその気持ちを上手く表現できず、相づちをうって話が終わりました。それから、私は自分の考えを整理してみました。「平和とは何か」についてです。戦争がないのは当然と思っている私にとって、戦争が無いから平和というのは、少し違うような気がしたので。そして私が出した「平和とは何か」の答えは3つでした。1.ご飯が食べられるということ。2.学校があつて、勉強ができるということ。3.両親や家族がいること、です。食べるものが無くては生きていきません。戦争のあるなしの前に、生きているかどうかというのが第一だと考えたのです。学校や勉強については、勉強する環境があるからこそ、何がよいことでも何が悪いことなのか、自分はどう生活していけばよいのかを知ることができると思います。3つ目の両親や家族については、もちろん一人では生きていけないからです。両親が私達のために働いてくれるからこそ、食事ができ学校にも通うことができます。一人ではそれができなくなれば、やはり両親や家族がいることが平和につながるかと私は考えたのです。もしかしたら、「平和とは何か」という問いの答えは一人ひとり違うかも知れま

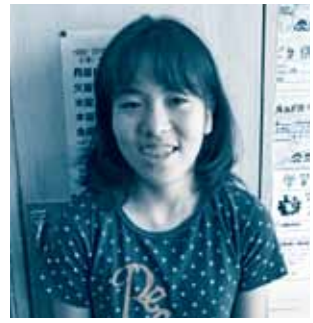
「家族をなくして、どうやってその苦しみを乗り越えて、生きてきたのだろう。」

せん。でも、私が考える「平和」が自分の中ではっきりしたことでは、私はこれからの平和学習が楽しみになってきました。私は、糸満市にある平和祈念資料館に行った経験があります。戦争で家族を亡くした人や戦地で戦った人の体験談が書かれた大きな本を読んだことを今でも覚えています。覚えているのは「かわいそう」とか「こわいな」とか思った記憶だけです。何をみてこわいと思ったりかわいそうだと思ったりしたかまでは心に残っていません。その時の私が、まだ戦争や平和について十分に考えたり理解したりできていなかったからだと思います。でも、今なら、もっと違った感想を持つような気がします。

「食べるもの、どうしていたのかな。どうやって、生きのびたのかな。」いきなり学校がなくなつて、勉強はどうしていったのだろう。友達とはどうなったの？「家族をなくして、どうやってその苦しみを乗り越えて、生きてきたのだろう。」そんなことを考えながら体験談を読むことができると思います。

慰霊の日がもうすぐ来ます。その前にもう一度資料館に行ってみたいです。そして、もっと真剣に戦争や平和について考えてみたいと思います。

第24回 児童・生徒の



「真の平和」を求めて

金武小学校6年

安次富 倫

「日本は平和だなー。よその国ではそんなことが起こっているんだ。こわいな。」

内戦やテロ事件報道を見て、私はそんな風を感じています。外に出るのに、爆弾が飛んでくるかも知れない、だれかにおそわれるかも知れない…。そんな風におびえて外出することなど私にはないからです。日本に住んでいる人は皆、私と同じだと思います。だからこそ、テレビで目にする映像はぞっとしたり、つい目をそむけたりするのです。

内戦やテロ以外にも、食糧不足に苦しむ人や環境の悪いところに住んでいる貧しい人々の映像を見ても苦しい気持ちになります。

「私達には家があり、そこには水も食べ物も、お菓子だってある。でも、それさえもない人が世界にはたくさんいるんだよな。」

そんなことを思い知らされ、自分のわがままを反省させてくれます。当然のように学校に行き、勉強したり遊んだりする。面倒だなと思いつつながら課題に向かい、そして、給食の時間には、嫌いな物を残したりする私。それがわがまままだということに気づかされるのです。

「私は幸せなのだ。恵まれた環境の中にいるのだ。」

そう思っただけの生活を送るようになりたいと私は考えました。

5月の連休に、私は家族といっしょに糸満にある平和祈念公園に行きました。そして、真つ先に平和の礎に向かい、そこで黙とうをしました。私の住む町、金武町では沖縄戦で50人ほどの人が亡くなり、その中には私のひいおじいちゃんや親せきの人達がいちからです。礎にひいおじいちゃんの名前を見つけて、私も家族も悲しい気持ちになりました。会ったことのないひいおじいちゃんだけれど、戦争で亡く

「日本で、沖縄で、二度と戦争が起こらないように、私達は努力します。」

なったことを思うと、つらく苦しい気持ちになりました。そして、心からやすらかにねむってほしい、と思ったのです。

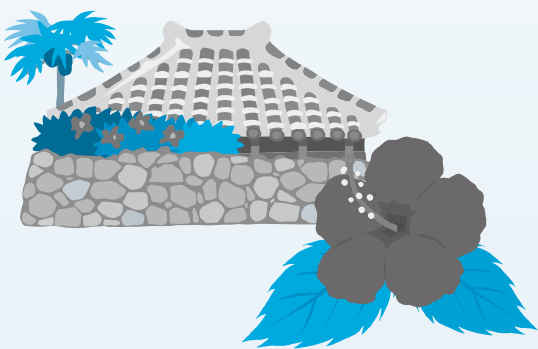
「日本で、沖縄で、二度と戦争が起こらないように、私達は努力します。だから、そうなることを見守っていて下さい。そして、安心して、やすらかにねむって下さい。」

そう思いながら手を合わせました。もちろん、日本だけでなく、世界中から戦争がなくなつてほしい、争いがなくなつてほしいと願っています。平和の礎を見たことは、世界中が平和へと変わっていきけるように、私には何ができるのか、考えるきっかけになりました。

私の周りでは戦争は起きていません。内戦もありません。地らいにおびえたり、おそわれる恐怖を感じることもありません。でも、日々のニュースでは殺人や傷害、盗みなどの事件が報道されています。そして、学校ではいじめが起きることもあります。悪口を言ったり仲間はずれをしたり。私にも心あたりがあります。だから、「真の平和」とは言えないかもしれない、と思った

ります。戦争さえ起きていなければ平和、というのではなく、生きている人々が安心して暮らしていることが平和だと思えます。何かにおびえたり、こわい思いやつらい思いをすることなく過ごせるのが「真の平和」だと私は思い直しています。たとえ自然災害や事故が起こったとしても、互いに助け合って、協力し合って、困難を乗り越えることができれば、それこそが「真の平和」と思うのです。それは、自分さえよければいいという考えを捨てて、誰かのために汗を流したり、真剣に悩んだり解決のために行動したりすることだと私は思っています。

「真の平和」をつくるために、私はだれかのために一生けん命活動します。私ができることをしっかりとやって、手をさしのべられる人になります。それが、今私にできること、すべきことだと気づきました。



紅茶講座

おいしい紅茶の入れ方を学び、紅茶のある生活を提案します。紅茶の飲み比べを通して違いがわかり、あなたの好きな紅茶が見つかるかも。

日時：10月2日(水)から 全3回
午後2時～4時

場所：第一会議室

対象：一般町民 13名

講師：内田智子(沖縄ティーファクトリー)

教材費：2,000円

持ち物：ティーカップ&ソーサー

アメリカンフラワー講座

クリスタルの様な輝きを持つアメリカンフラワー、知っていますか?。ワイヤーを曲げたりねじったりして形を作り、液につけて・・・と。とてもすてきな造花です。コサージュやブーケにも応用できます。(見本は公民館に展示してあります)

日時：9月12日(金)から 全5回
午後2時～4時

場所：第一会議室

対象：一般町民 13名

教材費：5,000円

持ち物：ハサミ

パソコンエクセル中級講座

日時：8月7日(木)～ 全4回
午後7時～9時

場所：視聴覚室

講師：安和 良盛

対象：一般町民・10名

教材費：2,000円

※パソコン持ち込みもできます。



沖縄の伝統工芸 ^{ついきん} 堆錦講座

漆でできた堆錦もち(シート)を花などの模様に取り取りお盆などに張り付ける琉球漆器の伝統的技法を体験しましょう。

日時：9月4日(木)～ 全4回
毎週木曜日 午後2時～

場所：団体室

講師：後間 義雄(国指定伝統工芸士)

対象：一般町民・12名

教材費：6,000円(作品2点)

※注意:漆を熱処理して被れないようにしていますが、被れ易い方や皮膚の弱い方はご遠慮ください。



漢詩講座

徐葆光(じょほこう)さんを知っていますか?

彼は、18世紀の琉球に冊封使として滞在した中国官僚です。

彼が当時の沖縄を詠んだ漢詩「徐葆光が詠んだ琉球八景」をテキストにして、古の琉球を偲んでみましょう。

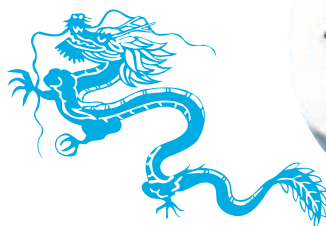
日時：9月3日(水)午後2時～ 全5回

場所：第一会議室

講師：鄔 楊華(徐葆光の研究家) 中国出身

対象：一般町民 20名

テキスト代：1,000円



「徐葆光が見た琉球」として映画も作りましたよ、ぜひ来て下さいね! お待ちしております。



鄔 楊華先生

第6回 婚活応援プロジェクト

独身さん いらっしゃ〜い!

話せる相手がいれば、楽しいはず。

一緒に連れ添って出かけられる

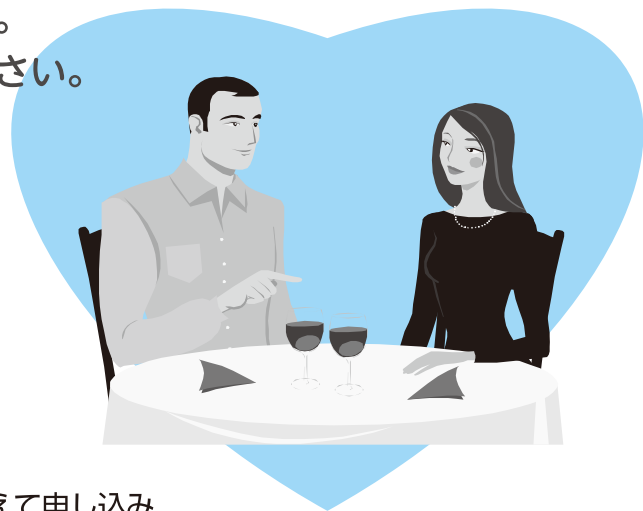
相手がいれば 楽しいはず。

人生はあなたが思うほど長くない。一歩踏み出してみましょう。

気の合う相手が見つかるかも知れません。

パーティを楽しむような気持で来てください。

お待ちしております。



日 時：8月30日(土)午後7時～

場 所：中央公民館・中ホール

参加条件：結婚したいと思っている男女
但し、男性は金武町在住者

参加費：男性・2,000円 女性：1,000円

持ち物：あなたの勇気

申込締切：8月22日(金)午後5時まで

以下の申込用紙に記入の上、参加費を添えて申し込み
してください。なお、電話、FAXでも申込できます。

その際、参加費は後日、納入してください。

申 込 用 紙	ふりがな 氏名	年齢	
	住所	電話 (携帯)	
	職業		
	その他 (プロフィール) PR等		

お申込み
お問合せ先

金武町立中央公民館

電話：968-2992

(有線) 8-2992

金武区青年会

新宿エイサーまつり 全島エイサーまつり 出場決定!

金武区青年会(伊芸祐樹会長)が、七月二十六日に東京都新宿区で開催される「第十三回新宿エイサーまつり」に出場することが決定しました。また、八月十七日に沖縄県で開催される「全島エイサーまつり」にも出場が決定し、現在、両エイサーまつりに向けて練習に取り組んでいます。

金武区青年会の皆さん、沖縄県、金武町の代表として頑張ってください! ひやみかせ!



▲(左から)仲間 雄介、会長 伊芸 祐樹、新里 志苑



▲練習風景



心に響き渡る囃子と唄声

金武区青年会会長あいさし

金武区青年会

会長 伊芸祐樹

私たち、金武区青年会は、若い会員を中心に多くの先輩方や、地域住民の皆様を支えられ青年会活動を行っております。

主な活動内容として旧盆エイサーや観月祭等のイベントを行い、また地域の防犯パトロール・独居老人住宅での清掃活動など、一年間を通して多くのボランティア活動も参加させて頂いています。

今年度の金武区青年会の大きな行事として、東京都新宿で開催される「第十二回新宿エイサーまつり」に沖縄県青年会代表として出演が決定しました。また、沖縄県で行われる「全島エイサーまつり」への出演も決定しております。

会員一同、熱を入れて日々の練習に励んでいます。

地域の皆様、そして派遣・出演に伴い協力して下さいました方々に感謝を込め、新宿、全島エイサーまつりで精一杯演舞してまいりますので、これからも金武区青年会に、温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

金武区青年会